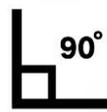


## コインゲームでより良い伝え方を考える

今月の授業で「コインゲーム」を行いました。内容は、目隠しをして床にはらまかれた100や200と書かれたコインを踏み、ポイントを貯めるというものです。目隠しをしてスタートラインに立つとペアになった相手が歩く方向を指示します。1度目を行ったあとに、どのような言い方が分かりやすかったかを話し合い、2度目のチャレンジをします。話し合いがうまく行くペアは、2度目の得点の方が高くなるようです。

このゲームでは、しっかりと相手の指示を聞いて動くことや自分の思いを分かりやすく相手に伝えることを目標としています。ゲームで「右は、お箸をもつ方?」や「左に90度に動くのはどうすればよい?」など指示の言い方を楽しみながら確認していました。

### 左右を覚える方法?



年齢によって覚え方がありますが、中学生では、時計を身に付け、付いている方の左右を伝える。手にホクロなどがある場合は、ある方が左右どちらなのかを伝える。靴の中敷きに右と書いたり、ミなどの印をつけたりするなどの方法があります。制服のYシャツの袖のボタンを1つカラーにするなども効果的です。



「～時の方向に進む」などの指示を聞きもらさず頑張りました。

### 来年度（令和8年）の指導について



夏季面談時に「令和8年度特別支援教室の指導の延長」に関わるお話をさせていただきます。東京都のガイドラインでは、原則の指導期間は1年と定められております。お子様の指導終了につきましては「困難を完全に解消したかどうかではなく自分の特性を理解して対応の仕方を学び、前向きに学習等に取り組むことができるようになったかなど在籍学級で感じていたつまずきが軽減したかという視点で振り返る」とあります。特別支援教室を退室した後は在籍学級での支援へと移行しますので支援が途切れることはありません。お子様から学校での様子等をお聞きになり、ご家庭でよく話し合われた上で面談にお越しください。よろしくお願いいたします。